

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

CRSを合言葉に額中第2期黄金時代を築きましょう



校内授業研修会（研究会中間発表のつもりで） 講師：玉置 崇 教授（岐阜聖徳学園大学）

「学びに向かう力」を発揮する生徒が育っています。生徒も教師もやる気に満ちた表情がすばらしいです。

公開授業① 9:45～10:35



2年2組 国語



1年1組 英語



日程、研究概論説明(9:00～9:30)



1年2組 家庭



2年1組 道徳



公開授業② 11:45～12:35



2年2組 理科



2年1組 数学



研究協議会場づくり(11:00～11:30)



5・6組 特活



3年2組 数学



10月20日(火)、11月11日(水)の研究発表会に向けての校内授業研修会を実施しました。研究発表会を意識して中間発表と捉え、講師に玉置崇教授を招き、現在の授業を振り返り、今後の授業改善につなげるためのものでした。研究主題「『学びに向かう力』を発揮する生徒の育成～小集団の学習を核とした授業への転換～」を掲げ、平成30年度から3か年の研究の成果を発揮する時が来ました。玉置先生に、午前中に8コマ、午後に3コマの授業を見ていただきました。

公開授業③ 13:25～14:15



ご指導の会 15:40～16:50



玉置崇先生からのご指導

・額田中学校の研究の『**学びに向かう力**』を**発揮する生徒の育成**』は、まさに教育の流れをとらえたテーマです。「小集団の学習を核とした授業への転換」は、文部科学省が出している「**個別最適な学び**」につながるものです。これからの教育は、学習を**自己調整する力**が重要であると言われていています。これが、「**学びに向かう力**」です。そういう意味で、額田中学校の研究は、最先端の教育をとらえた価値あるものになっています。

・私は、高校時代の先生の影響を受けて落語が好きになり、大学でも落研に入って、落語の世界にはまっていきました。桂米朝氏の落語に魅かれ、ますます落語が好きになり、自分から進んで落語を学ぶようになりました。だれかに言われて、やらされて落語をやっているのではなく、自分に合った形で落語を学んでいます。これが、「個別最適な学び」と言えるのではないかと考えています。

※授業の動画を使って、CRSの場面での生徒の動き、教師の出について具体的なご指導がありました。

- ・授業の導入で、セルフチェックカードを読ませて、学びをつなげる場面がよかったです。
- ・CRSメーターで自分の学びを見える形にする工夫がすばらしかったです。
- ・生徒にとって興味がある学習課題であったので、生徒は「**学びに向かう力**」を発揮していました。
- ・CRSでの生徒の表情がすばらしいです。生徒の互いに学び合う姿勢がつけられています。
- ・教師のCatchする力、Responseする力、そしてStringする力を磨いていくことで、生徒はもっと主体的・対話的で深い学びをしていくと思います。
- ・**額田中学校の理論はすばらしいので、実践して教師の出をもっと具体化していくと、これからの社会を生き抜く生徒を育成できると考えています。**11月11日（水）を楽しみにしています。